



◎期日：2022年10月31日（月）日帰り

◎メンバー：新井（単独）

◎天気：晴れ

◎主なコース：埼玉県越生町黒山（町営無料P）～越上沢～越辺川源流～雨乞い塚～顔振峠～黒山

越辺川は埼玉県西部を流れる川で入間川の支流。源流は越生町の黒山地区になる。今回は黒山まで車で入り、越辺川源流から雨乞い塚・顔振峠・黒山と周回した。道標はなく踏み跡と赤テープだが、距離も短く沢筋をはずさなければ特に問題となるところはない。ルート取りなど楽しみながら歩くことができた。

### 【駐車場～入山地点】

県道 30 号線から黒山三滝方面へ向かい黒山バス停近くの町営無料駐車場に駐車。（三滝にも駐車場があるが「3 時間以上の駐車はご遠慮下さい」との看板がある。）

駐車場から顔振峠方面へ向かう車道を進む。車道と言っても車はほとんど通らず、きれいな沢沿いの道をのんびり歩いた。途中に「渋沢平九郎自決の地」がある。顔振峠への登山道を示す道標を過ぎてしばらくすると給水設備がある。その先にテープの目印があり踏み跡を右に入る。



（入山口）

### 【入山地点～源流】

踏み跡に入ると小沢（越上沢）を渡る。この辺りはもともと仕事道のように、しっかりした山道になっている。沢の左岸の道を小さな滝を見ながら歩く。しばらく進むと「石門」と名付けられた場所を通過する。（プレートがあるがあまりそれらしく見えない。）



（小さな滝が続く）

石門を過ぎると2回目の徒渉。この先から踏み跡が不明瞭になったりする。赤テープを探しながら進んだが、あまり当てにせず沢筋の歩きやすいところを選んだ。3回目の徒渉の後、「三重の滝」となる。（半分埋もれていたプレートを偶然見つけたのでこの名がわかった）この辺り両岸ともに赤テープがあ

り、少しウロウロしたが面倒になって沢身を進み左岸を急登した。

沢に戻ると「岩屋の滝」と思われるところに出た。小さいながらこの沢では一番大きな滝である。左岸を巻くとすぐに二俣となった。



(三重の滝)



(岩屋の滝)



(二俣 <右俣>)

二俣からは右俣の踏み跡に行く。傾斜もほとんどなく、源流が近いことをうかがわせる雰囲気のところである。15分ほどで「源流の碑」のあるところに着いた。最初の一滴を確かめたり写真を撮ったりした後雨乞い塚に向かった。(※二俣から左俣を詰めると諏訪神社に出る。)



(源流)



(雨乞い塚より越生方面)

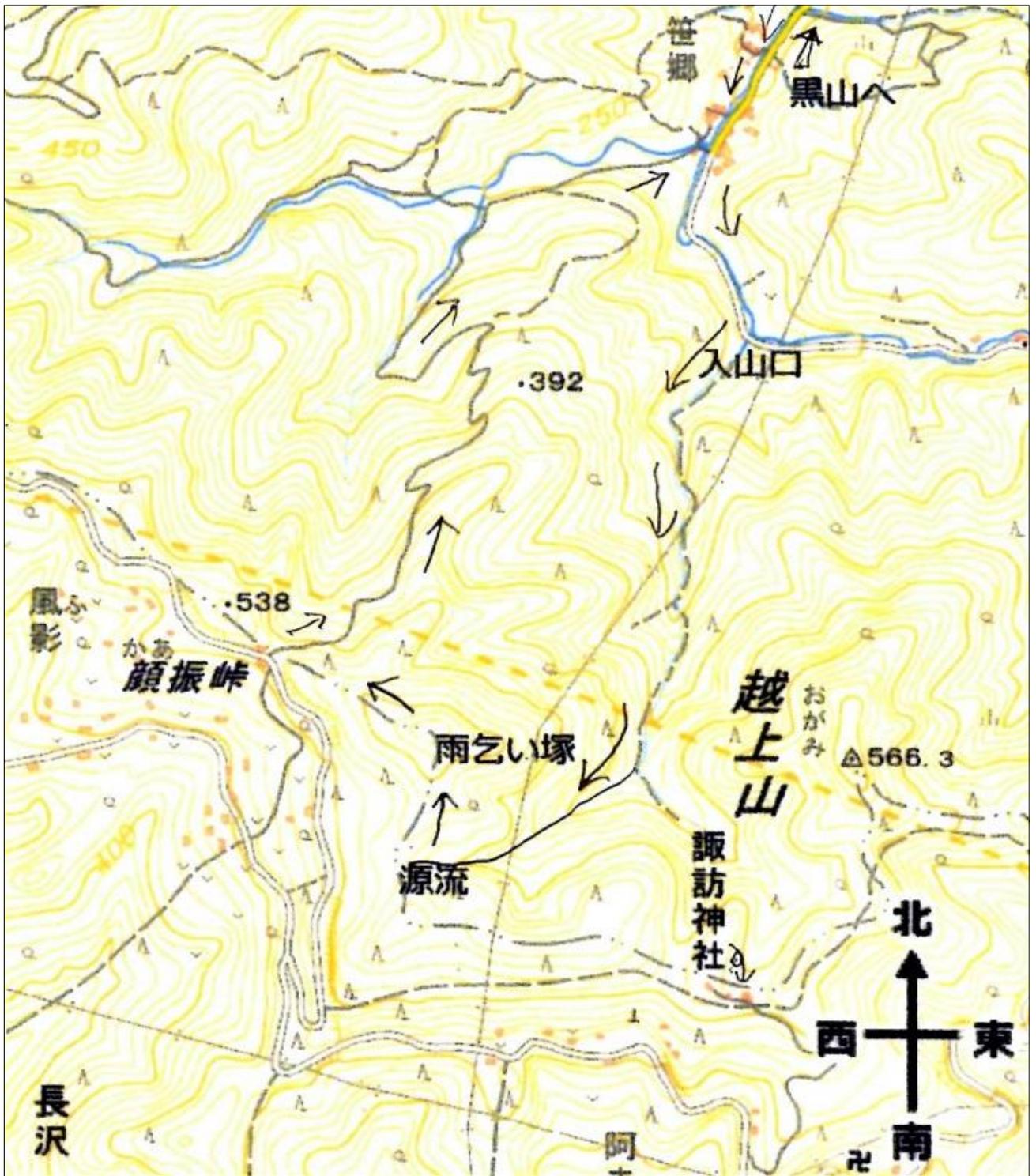
### 【源流～雨乞い塚】

源流から雨乞い塚へは方角を確認し(北)ピークを目指す。踏み跡はないが疎林なので適当に歩ける。途中仕事道(登山道?)が横切るがそのまま進む。顔振峠からの明瞭な踏み跡が出てくると、じきに雨乞い塚となる。ここからの展望は木立が多くあまりよくないが、北東方面は開けていて見晴らしがきいた。昼食後、顔振峠へ下り、距離の一番短い「黒山バス停」方面への下降路を利用して下山した。

☆沢は小さいが全体的に藪が多いので、葉が落ちた季節の方がよいのではないかと感じた。またコースが短いので、源流に行った後、雨乞い塚に登らず二俣に戻り左俣から諏訪神社に行くのもよいと思う。(諏訪神社に出た場合は車道を顔振峠に向かう。)

### 《コースタイム》

黒山 (P) 8:40→入山口 8:55~9:12→石門 9:25→標高 340m 辺りで休憩 9:50~10:15→二俣 10:20→源流 10:34~10:45→雨乞い塚 11:00~11:30→顔振峠 11:40→黒山 (P) 12:35



(了)